

「チョコレートをおいしく食べ続けるために、私たちができること」 ～大阪・関西万博で高校生が持続可能なカカオ産業の未来を提案～

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、8 月 10 日（日）に大阪・関西万博テーマウィークスタジオにて、持続可能なカカオ産業の未来を考えるイベント「チョコレートをおいしく食べ続けるために、私たちができること」を開催します。本イベントは、JICA が事務局を務める「[開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム](#)」によるもので、当日は、地元・大阪の高校生が、持続可能なカカオ生産と消費の在り方について提案します。

カカオ産業は現在、経済、社会、環境のそれぞれの面で深刻な課題を抱えています。西アフリカの主要な生産国であるガーナやコートジボワールでは、カカオ農家の約 3 分の 2 が生活に必要な収入を得られず、貧困が児童労働や環境破壊などの問題を引き起こす一因となっています。例えばガーナでは、子どもの 21.8%がカカオ産業や水産業で児童労働に従事していると報告されています。また、カカオ栽培を行うための森林伐採や焼き畑農業も行われており、森林破壊や環境破壊に繋がっています。日本で消費されるカカオ豆のほとんどは輸入に頼っており、その約 7 割がガーナから輸入されていることから、こうした課題は私たち日本人の暮らしにとって無関係ではありません。

今回のイベントでは、地元・大阪の高校生たちが「チョコレートを美味しく食べ続けるために、私たちができること」をテーマに、約 3 か月間にわたり、学びや議論を重ねてまとめた提案を発表します。万博という国際的な舞台で発表することにより、来場者の意識を喚起し、消費者としての行動変容を促すことを目指します。

【プログラム概要】

日 時： 2025 年 8 月 10 日（日） 10:30～12:00

場 所： 大阪・関西万博テーマウィークスタジオ

※万博会場までのアクセス：[アクセス | EXPO 2025 大阪・関西万博公式 Web サイト](#)

形 式： ハイブリッド式（会場＋ライブ配信）

参考：[チョコレート美味しく食べ続けるために、私たちができること | 大阪・関西万博テーマウィーク](#)

■開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォームについて

カカオの生産国の課題を背景に、2020 年 1 月、持続可能なカカオ産業の実現を目的として設立されました。多様な関係者が共創・協働するための「場」として、業界団体、食品 メーカー、商社、NGO、コンサルティング企業など 73 企業/団体、148 個人が参加しています。同プラットフォームにおいて、2021 年 12 月には、特にカカオ産業における児童労働の問題の解決を目指す NGO や企業が中心となって「カカオ産業における児童労働の撤廃分科会」が設立されたほか、「トレーサビリティ分科会」と「エクアドル分科会」が設立され具体的な情報交換や発信などの取組みを行っています。

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【当日登壇者】

登壇者名	プロフィール
チョコレートプラネット (司会)	2006 年結成、長田庄平、松尾駿によるお笑いコンビ。 2008 年、2014 年、2018 年の 3 度「キングオブコント」決勝に進出。 TT 兄弟をはじめとするキャラクターやものまねで一躍人気を獲得し、 YouTube チャンネル「チョコレートプラネット チャンネル」は登録者数 240 万人にのぼる。「THE 神業チャレンジ」(TBS 系)、「新しいカギ」(フジテレビ 系)にレギュラー出演するなど各方面で幅広く活躍中。
株式会社 明治 カカオマーケティング部 CXS グループ 晴山 健史	2008 年、株式会社 明治(当時、明治製菓)に入社。 研究所、工場、本社技術・生産部門にて、主にチョコレートの技術・商品開 発、生産、技術支援を担当。 2022 年より、社内公募にて、現組織の立ち上げメンバーとして、「ひらけ、カ カオ。」をスローガンに、カカオ産業のサステナビリティ向上に従事。
株式会社ロッテ サステナビリティ推進部 企 画課課長 飯田 智晴	2007 年、ロッテ入社。キシリトールブランドの開発研究に携わった後、経営 企画部門に異動し、事業戦略の一環としてサステナビリティ推進業務を立ち 上げる。2021 年より現職で、環境から人権まで幅広いサステナビリティ推 進と非財務情報開示を担当。
不二製油株式会社 営業 部門営業戦略室 CSV 推進 課課長 後藤 愛	顧客のサステナビリティ対応を推進。サステナブルな調達を軸に、企業と消 費の価値をつなぐ提案に取り組んでいます。
大阪医科薬科大学高槻高等 学校 代表チーム	高槻高等学校は大阪府高槻市にある完全中高一貫校です。ユネスコスク ール、SSH 指定校、SGH ネットワーク校として、科学倫理やグローバルヘ ルスの研究、先進的な理数探究、国際教育に力を入れ、グローバルな視野 で持続可能な社会の創造に貢献する人材の育成を目指しています。
東海大学付属大阪仰星高等 学校 代表チーム	1983 年の創立以来、東海大学の付属校として建学の精神に基づき、「高い レベルの文武両道」の体現を目指してきました。授業や行事、課外活動等を 通じて、学力のみならず、批判的思考力やコミュニケーション能力などの 「見えないチカラ」を向上させるために、立体的・多角的な教育を実践してい ます。
JICA ガバナンス・平和構築部 法・司法チーム課長 琴浦 容子	2004 年、JICA 入構。アフリカ部、セネガル事務所等での勤務を経て、現在 は JICA 本部にて、ビジネスと人権を始めとするガバナンス・平和構築部にて 法・司法分野の事業を総括。サステイナブルカカオプラットフォームの事 務局を務める。